

## 英語の超人になる! アルク学参シリーズ

受験のために必死で勉強する、これは素晴らしい経験です。しかし、単に高校・大学に合格さえすればよいのでしょうか？ 現在の日本に必要なのは、世界中の人々とコミュニケーションを取り、国際規模で活躍できる人材です。総理大臣になってアメリカ大統領と英語で会談したり、ノーベル賞を受賞して英語で受賞スピーチを行ったり、そんなグローバルな「地球人」こそ求められているのです。アルクは、大学受験英語を超えた、地球規模で活躍できる人材育成のために、英語の学習参考書シリーズを刊行しています。

## 『新ユメタン』に超入門レベル 「Jr.」が登場!



灘中学校・高等学校  
英語科教諭  
木村達哉 先生

基本単語を  
「クイック  
レスポンス」して  
コミュニケーション  
の土台を作る!



灘校の英語科教諭、木村達哉です。「ユメタン」を初めて世に送り出してから数年経ち、毎年多くの学校の多くの生徒たちに使っていただけになりました。本当にうれしく思っています。「ユメタン」のコンセプトをひと言で言うなら、「英語の4技能（読む・聞く・書く・話す）の力をバランスよく伸ばすための単語集」になります。特にCDを使って日本語が流れた瞬間に英語を言うクイックレスポンスを習慣にすることで、英語を話す力を高めることができます。

「英語の勉強のモチベーションを高めるためにどうすればいいですか」と聞かれることがあります。英語が苦手な状態では勉強は面白くありません。先生に「やれ」と言われてやる勉強が面白いわけがありません。勉強をしようと思う自分を作ることこそ、モチベーションを維持するための唯一の方法なのです。身の回りのことが英語で言える自分を作り、もっと話せるようになりたいと思えるようになれば、英語の勉強が習慣化します。この本を使って英語力とともに英語学習のモチベーションアップにも役立ててもらえればいいなと思っています。

反復で単語を  
体にしみこませ、  
身の回りのことを  
英語で話せる  
自分になろう!



## 「キムタツ式語彙学習法」とは？

Q1

『新ユメタンJr.』はどのようなコンセプトで作られた本ですか？

A1

身の回りのことが英語で言える力と勉強のモチベーションをアップさせるために作りました！

英語を勉強していても自由に使えなければ、勉強がつまらないのではないのでしょうか。あるいは単に入試や模試のために英語を勉強するのは不毛だと考える人がいても不思議ではないと思っています。僕自身、高校時代に思っていたのが「大学入試に出題される論説文が読めるのに、簡単な身の回りのことが英語で言えないのはつまらない」ということでした。大学入試のために英語を勉強していたものだから、大学に合格した瞬間に英語の勉強をしなくなり、おかげで社会に出てから英語を勉強し直す羽目になりました。その際に直面したのが、英語の

勉強をこんなにしてきたのに身の回りのことが英語で言えなくて、だから海外ではまったく英語が使えないという現実でした。それもクイックレスポンスのトレーニングをしていなかったのも、せっかく覚えた英語の単語や表現でも即座に出てこなくて悔しい思いをしたものです。

この本には身の回りにあるモノを英語でどう言うのかが詰まっています。何度も反復すれば、「話せる」実感が湧いてきて、それが英語の勉強のやる気向上にもつながります。身の回りのことが英語で話せるってなんて素敵なんでしょう。「話せる自分」を楽しんでください。



本書の学習方法である「キムタツ式語彙学習法」について、木村先生に詳しく聞きました！

Q2

「キムタツ式語彙学習法」はなぜ忘れにくいのですか？

A2

同じ50語を1週間繰り返す「反復学習」と目、口、耳の「トリプルアプローチ」で単語をしっかり頭に定着させます。

『ユメタン』を作る際にはコーパスや過去の大学入試問題を参考にしたのですが、それ以上に重視したのが「いかに忘れない単語集にするか」でした。脳科学の本を読みあさり、「忘れやすい覚え方」と「忘れにくい覚え方」を研究しました。

大切なことは2つ。1つは反復回数を上げることです。語彙の習得で大切なことは勉強時間ではありません。回数です。人の名前を覚えるとき、会話中に名前を何度も呼ぶと効果的なのですが、語彙を覚える際も、何回同じ単語に出合っ

たかが重要です。毎日違う単語を勉強するのではなく、同じ50語を1週間、最低でも7回は反復することで、頭に定着しやすくなります。

2つ目はアプローチの種類です。目で見ただけでは忘れやすくなります。目で見たら発音し、耳で聞き、できれば紙に書いて覚えましょう。最低でも目、口、耳のトリプルアプローチを意識するとぐっと忘れにくくなるのです。CDを使うことで、嘘のように忘れにくくなるので、ぜひトライしてください。





Q3

毎日50語学習するのはキツそうです。  
学習を続けるコツはありますか。

A3

**50語を音読するのにかかるのはたった1.5分！  
7日間、同じ50語を繰り返すうち  
自然と脳に刷り込まれていくので大丈夫。**

最初の1日や2日で50語全部覚える必要はありません。7日間、繰り返し同じ単語を学習することで自然に脳に刷り込まれていくので、心配しなくても大丈夫です。それに50語を音読するのにかかる時間がどれくらいかご存じですか。僕が灘校生と一緒に『ユメタン』の100語を「リピートアフターミー」形式でゆっくり読んでも、最長で3分程度。CDで1ユニット(100語)流すのにかかる時間は約5分です。仮に毎日3周しても15分しかかかりません。『新ユメタン Jr.』は1ユニット50語なので、かかる時間はこの半分と考えてい

いでしよう。

1日の学習量が少なく毎日の学習は楽ですし、続けることも容易かもしれません。でも、そのような学習方法では月曜日に覚えたものを水曜日には忘れてしまっているということになりがちなのです。皆さんは今までこれで失敗してきたのではないのでしょうか。

1週間毎日50語ずつ繰り返すからこそ定着するのです。このメソッドを実践された全国の先生方から「信じられないくらい英語の偏差値が上がった」という報告を頂いています。皆さんにもその効果を体験してほしいと願っています。

Q4

この本は大学入試にも対応できますか。

A4

**英語の土台は中学英単語と中学英文法。  
土台を固めれば大学入試に対応する英語力を  
身に付けることができます！**

高校入試にしても大学入試にしても、土台となるのは中学レベルの英単語と英文法です。英語が苦手な人、点数が上がらない人、勉強が面白くない人の多くは、この本に載っている基本単語や基本表現を知らないことが原因なのです。逆に言えば、この本に載っているレベルの言葉を覚えることによって、英語力は飛躍的に伸びていくことでしょう。大学入試問題の約80%が中学範囲の内容であるというデータもあります。この本には**中学範囲の英単語や英文法に基づいた例文がたくさん出てきます。英単語だけでなく、各単語を含んだ英文を訳したり英作文し**

たりしながら、中学英語を徹底的にマスターしましょう。それによって大学入試に対応できる英語力をも身に付けることができるのです。

またすでに大学に合格した人や社会に出た人で、僕と同じように身の回りのことが英語で言えない人は「英語やり直し本」としてご活用いただくことができます。まず基本的な動詞と形容詞の用法とニュアンスをUNIT01～03で習得したあと、身の回りの名詞を覚えてください。動詞・形容詞と名詞を組み合わせることで、非常に多くの英語表現を身に付けることができるでしょう。

この本は絶対に裏切らない！  
反復するから忘れない！



# 本書とCDの使い方


## 各UNITの学習について

本書は、ほかの「新ユメタン」シリーズと同様、「キムタツ式語彙学習法」に基づいて学習を進めるUNIT 01~15に加え、「UNIT 00」「SENTENCES FOR COMMUNICATION」が収録されています。

### UNIT 00

基本的な単語として欠かせない、代名詞・接続詞・前置詞・助動詞や、不規則変化動詞の活用などが掲載されています。音声も収録されていますので、運用力を付けるためにも、ぜひ覚えてください。このUNITは、『新ユメタン0』の「UNIT 00」pp.44-55と同様のものが掲載されています。

### UNIT 01~15

本書では、見出し語がフレーズになっているものと、単語になっているものがあります。フレーズになっているものは、そのフレーズのコアとなる単語1つに対して発音記号と品詞のアイコン（など）がついています。また、UNIT 01「基本動詞」では、同じ動詞でも用法が違えば、別の見出し語として掲載しています。

## SENTENCES FOR COMMUNICATION

このパートは、ほかのUNITとは少し形が違いますが、「身の回りのことを話す」という本書のコンセプトを少し広げ、「コミュニケーション力をアップさせる」のに役立つセンテンスをまとめました。難しい単語も入っているかもしれませんが、細かいことは気にせず、丸ごと覚えてどんどん使ってみましょう！

「話すために」必要な単語、フレーズ、センテンスが満載！がんばって覚えよう！



### UNIT 00

品名	英語	日本語	品名	英語	日本語
代名詞	me	私	代名詞	myself	自分自身
代名詞	you	あなた	代名詞	yourself	自分自身
代名詞	he	彼	代名詞	himself	自分自身
代名詞	she	彼女	代名詞	herself	自分自身
代名詞	it	それ	代名詞	itself	自分自身
代名詞	we	私たち	代名詞	ourselves	自分自身
代名詞	you	あなた	代名詞	ourselves	自分自身
代名詞	they	彼ら	代名詞	themselves	自分自身
代名詞	we	私たち	代名詞	ourselves	自分自身
代名詞	you	あなた	代名詞	ourselves	自分自身
代名詞	they	彼ら	代名詞	themselves	自分自身
代名詞	we	私たち	代名詞	ourselves	自分自身
代名詞	you	あなた	代名詞	ourselves	自分自身
代名詞	they	彼ら	代名詞	themselves	自分自身
代名詞	we	私たち	代名詞	ourselves	自分自身
代名詞	you	あなた	代名詞	ourselves	自分自身
代名詞	they	彼ら	代名詞	themselves	自分自身
代名詞	we	私たち	代名詞	ourselves	自分自身
代名詞	you	あなた	代名詞	ourselves	自分自身
代名詞	they	彼ら	代名詞	themselves	自分自身
代名詞	we	私たち	代名詞	ourselves	自分自身
代名詞	you	あなた	代名詞	ourselves	自分自身
代名詞	they	彼ら	代名詞	themselves	自分自身

代名詞や助動詞、不規則変化動詞の活用などが、見やすい表にまとめられています。じっくり眺めて、耳から目からインプットし、そして書いてアウトプットして、確実に覚えてしましましょう。

### UNIT 01~15 (2)

UNIT 01	UNIT 02	UNIT 03	UNIT 04	UNIT 05	UNIT 06	UNIT 07	UNIT 08	UNIT 09	UNIT 10	UNIT 11	UNIT 12	UNIT 13	UNIT 14	UNIT 15
play a computer game	make an excuse	play volleyball	make lunch for me	play the part of a cat	make me happy	play the piano	make money	play with my toy	make trouble	play the piano	make money	play with my toy	make trouble	play the piano

フレーズになっている見出し語は、UNIT 01~03にあります。複数の単語から成っていますが、注すべき語は、「動詞」(UNIT 01-02)と「形容詞」(UNIT 03)です。この注すべき語のみ、発音記号が入っています。

### UNIT 01~15 (1)

UNIT 01 身の回りの動作を表す動詞 1

Oh! It's time to go to school.

Yes! I got full marks!

My father makes lunch for me every day.

My father plays the piano very well.

I turned a page of the textbook.

I always come back home around 5 p.m.

I ran to the station in time for school.

Take your umbrella with you in case it rains.

UNIT 01~15の最初にイラストが入っています。これから学ぶ単語のイメージを膨らませたり、そのUNITで学習する単語を使って「話す」場面をイメージしたりするために、ゆっくり眺めてみてください。

## SENTENCES FOR COMMUNICATION

SENTENCES FOR COMMUNICATION

Both are to blame.

Don't mouth off.

Can I take a rain check?

Don't sweat such small stuff.

Don't be a stranger.

Don't trouble yourself.

Don't cut me off before I finish.

He sometimes pushes his luck.

Don't go out of your way.

did so-to on the TOEIC® test today.

ほかの「UNIT」とは、形が違いますが、このパートの50センテンスを含め、本書の掲載語数は「800語」になっています。理解を助けるために「備考」のアイコンで、単語や成句の意味を入れました。



## 2つの学習コース (UNIT 01~15)

本書では、1週間で50語を学習する「標準コース」と1週間で25語を学習する「楽々コース」の2コースを用意しています。どちらのコースでも、毎日の学習手順は同じです。

### 標準コース

**1週間 (7日間) 毎日50語 × 15週間 = 750語 マスター**

本書の標準的なコースです。1週間で1ユニット(50語)を学習します。7日間毎日、「聞く」「発音する」「書く」などのタスクを通してその週に学習する50語に繰り返し触れることで、高い定着率でしっかり身に付けることができます。

### 楽々コース

**1週間 (7日間) 毎日25語 × 30週間 = 750語 マスター**

毎日の学習語数は標準コースの半分。1ユニットを前半の25語と後半の25語に分け、標準コースの倍の時間をかけて750語をマスターします。少しずつでも確実にモノにしていきたい人向けのコースです。

## SENTENCES FOR COMMUNICATION について

本書ではUNIT 01~15で「750語」を、その後の「SENTENCES FOR COMMUNICATION」(P. 281~)で50個の表現を覚え、合計800語(表現)をマスターします。「SENTENCES FOR COMMUNICATION」で登場する表現は1週間かけて覚える従来の「キムタツ式語彙学習法」ではなく、みなさんの好きなペースで、好きなときに、センテンスを「丸飲み」する感覚で覚えてみてください。覚えたら、日常生活で使ってみることを忘れずに！

## 毎日の学習手順 (UNIT 01~15)

### DAY 1 単語の実力チェック

所要時間：約10分

- ① 単語の意味を「カクシート」で隠す。単語を見ていき、分からない単語はチェックボックスにチェックを入れる。どれくらい知っている単語があるか確認。
- ② テキストを見ながらCDのWORD (PHRASE)トラックを聞く。最初に流れる日本語で意味を、その後流れる英語で単語の発音を確認。

### DAY 2 単語を書いて覚えよう!

所要時間：約15分

- ① 単語を見て意味が分かるか確認。
- ② 単語を発音し、発音とスペリングを関連付けて覚えるつもりで3回ずつ紙に書く。発音が分からなかったら、CDで確認する。

### DAY 3 単語のクイックレスポンス

所要時間：約10分

- ① 単語をシートで隠す。意味を見ながらCDのWORD (PHRASE)トラックを聞き、日本語の後に素早く英語を発音する(クイックレスポンス)。
- ② 分からなかった単語は、チェックボックスにチェックを入れ、繰り返し発音して覚え直す。

### DAY 4 センテンスの実力チェック

所要時間：約10分

- ① センテンスの訳をシートで隠し、意味を考える。
- ② センテンスをシートで隠し、訳に対応するセンテンスを思い出す。分からないセンテンスはチェックボックスにチェックを入れる。

### DAY 5 センテンスを書いて覚えよう!

所要時間：約10分(~15分)

- ① センテンスを見て訳が分かるか確認する。
- ② 発音しながら紙に1回ずつ書いて覚える。

### DAY 6 センテンスのクイックレスポンス

所要時間：約10分

- ① センテンスをシートで隠す。CDのSENTENCEトラックを聞き、日本語の後に素早くセンテンスを発音する(クイックレスポンス)。
- ② 分からなかったセンテンスは、チェックボックスにチェックを入れ、覚え直す。

### DAY 7 単語とセンテンスの最終チェック

所要時間：約20分

- ① 各ユニットの最後にある「WORD (PHRASE) LIST & SENTENCE LIST」ページを開き、左側の日本語をシートで隠して、単語あるいはセンテンスの意味を素早く答える。
- ② 右側の英語をシートで隠して、単語あるいはセンテンスを素早く発音。
- ③ できなかったものにチェックを入れていき、最後にスコアボックスに点数を記入する。覚えていなかったものは再度覚え直す。  
\*「楽々コース」の人は前半の25語と後半の25語の最終チェックを分けて行う。

\*所要時間は標準コースの場合のもので、楽々コースは約半分の所要時間となります。

\*単語(見出し語)はユニットによってフレーズの場合もあります。

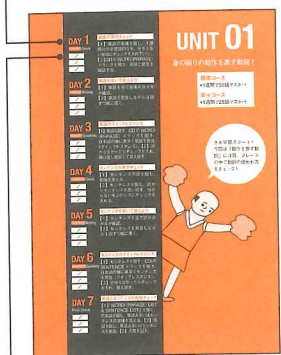
# 1週間の流れ

## START 学習手順の確認

学習を始める前に、その日の学習手順を確認しましょう。学習手順は、ユニット扉と、カクシートに載っています。

### ユニット扉

その日の学習手順を確認しましょう。



学習日の記入欄です。本書を繰り返し使えるように、記入欄は3つずつ設けてあります。

### カクシート



学習中、見る必要のない部分はこの「カクシート」で隠しましょう。隠す部分は日によって違うので、シートに載っている「学習手順」に従ってください。

## DAY 1~DAY 6 単語・センテンスの反復学習(10ページ)

### 単語・センテンス学習ページ

UNIT 01	PHRASE A10 PHRASE A10 SENTENCE A10		PHRASE A10 SENTENCE A10	
	001	□ 国 コンピューターゲームゲームをする □ play a computer game [pléi] [pléi]	□ 私 コンピューターゲームゲームをする	006
DAY 1 PHRASE Check	□ My hobby is playing computer games. □ 私の趣味はコンピューターゲームゲームをすることなんだ。	002	□ Don't make excuses. □ 言い訳をしなさい。	
DAY 2 PHRASE Writing	002	□ 国 バレーボールをする □ play volleyball [pléi] [pléi]	007	□ 国 私に昼食を作る □ make lunch for me [méik] [méik]
DAY 3 PHRASE Speaking	□ We play volleyball every Sunday. □ 私たちは、毎週日曜にバレーボールをするよ。	003	□ 国 私に私を幸せにする □ make me happy [méik] [méik]	
DAY 4 SENTENCE Check	003	□ 国 猫の役を演じる □ play the part of a cat [pléi] [pléi]	008	□ This song makes me happy. □ この歌を聞くと幸せになる。
DAY 5 SENTENCE Writing	□ My favorite actress played the part of a cat. □ 私のお気に入りの女優が猫の役を演じたよ。	004	□ 国 お金を稼ぐ □ make money [méik] [méik]	
DAY 6 SENTENCE Speaking	004	□ 国 ピアノを弾く □ play the piano [pléi] [pléi]	009	□ My mother makes a lot of money. □ お母さんはたくさんお金を稼いでいる。
DAY 7 Final Check	005	□ 国 私のおもちゃで遊ぶ □ play with my toy [pléi] [pléi]	010	□ make trouble [méik] [méik]
	□ My brother always plays with my toys. □ 弟は、いつも私のおもちゃで遊ぶ。		□ Don't make trouble. □ 問題を起こさないで。	

各ユニットの最初と6ページ目の端は黒くなっています。「楽々コース」の人はこれを学習の前半と後半の目安にしてください。

DAY 1~DAY 6 は単語・センテンス学習ページで反復学習を行います。「標準コース」の人は1週間で1ユニット分の10ページ(50語)を学習します。「楽々コース」の人は1週間で1ユニットの半分当たる5ページ(25語)ずつ進めましょう。

00  
01 UNIT  
02  
03  
04  
05  
06  
07  
08  
09  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
029



単語・センテンス学習ページの詳細

- ① 見出し語です。発音記号と発音のカタカナ表記(Dr. Rei's Phonetic Symbols)を掲載していますので、発音の参考にしましょう。
- ② 発音やアクセントの位置に注意が必要な単語であることを表しています。
- ③ 見出し語の意味です。第一義を色文字にしています。
- ④ 見出し語が収録されているCDトラック番号です。
- ⑤ センテンスが収録されているCDトラック番号です。
- ⑥ 見出し語の派生語・反意語・同意語・類義語・同音・類音・備考などの情報です。
- ⑦ 見出し語を使用したセンテンスです。CDに音声収録されています。

UNIT 07

①	②	③
④	⑤	⑥
⑦		

311	<p>④ 発音注意</p> <p><b>cupboard</b> [kʌbəd] [カパーD]</p>	<p>④ 食器棚</p>
	<p>□ Take four plates out of the <b>cupboard</b>.</p>	<p>④ 食器棚から取り皿を4枚出して。</p>
312	<p><b>dish</b> [dɪʃ] [デイチュ]</p>	<p>④ 大皿；(1皿分の)料理 【備考】主に大皿のことを指す。複数形は dishes [dɪʃɪz]</p>
	<p>□ I think I have a new <b>dish</b> in the cupboard.</p>	<p>④ 食器棚に新しい大皿があると思うんだ。</p>
313	<p><b>chopstick</b> [tʃɒpstɪk] [チャPスティK]</p>	<p>④ おはし 【備考】「はし1膳」は a pair of chopsticks</p>
	<p>□ These <b>chopsticks</b> are not mine.</p>	<p>□ このおはしは私のじゃない。</p>
314	<p><b>sink</b> [sɪŋk] [シンK]</p>	<p>④ 流し台 ④ 沈む；～を沈める</p>

DAY 7 単語チェック&センテンスチェック

DAY 7は「WORD(PHRASE) LIST & SENTENCE LIST」で、学んだ単語とセンテンスの最終チェックを行います。

WORD(PHRASE) LIST & SENTENCE LIST

WORD(PHRASE) LIST：見出し語(単語、またはフレーズ) 50語がランダムに並んでいます。「楽々コース」の人は25語ずつ復習しましょう。

「25語」の区切れ目であることを示します。「楽々コース」の人は、これを目印に単語とフレーズの復習をしましょう。

Set 7 Word List

WORD LIST & PHRASE LIST

001-025 フレーズをチェック

単語・フレーズ	収録 CD	収録 CD	収録 CD
④ 金銭を稼ぐ	make money	250	250
④ 猫の尻尾を遊ぶ	play the part of a cat	250	250
④ センターで遊ぶ	play the piano	250	250
④ 朝ごはんを食べる	have some bread for breakfast	250	250
④ ある人の傘を持っていく	take your umbrella with you	250	250
④ 散歩する	take a walk	250	250
④ コーヒーを飲む	turn a page	250	250
④ 本を読む	turn the key	250	250
④ コンピューターゲームをする	play a computer game	250	250
④ 問題を解く	make trouble	250	250
④ 右に曲がる	turn to the right	250	250
④ 助けを乞う	have a good time	250	250
④ 目覚める	drive a headache	250	250
④ ハルローをやる	play volleyball	250	250
④ 笑顔をみせる	make me happy	250	250
④ フアンのほうを向く	turn to face the door	250	250
④ 風呂に入る	take a bath	250	250
④ ロクレーに乗る	take a taxi	250	250
④ 電話を掛ける	make a phone	250	250
④ 顔を赤らめる	turn on the light	250	250
④ 靴を動物園に連れていく	take me to a zoo	250	250
④ 靴を履く	make lunch for me	250	250
④ 靴のおもちゃで遊ぶ	play with my toy	250	250
④ 靴の反対側の人へ	have two brothers	250	250
④ 靴を履く	make an excuse	250	250

026-050 フレーズをチェック

単語・フレーズ	収録 CD	収録 CD	収録 CD
④ 靴に「愛してるよ」と言う	say to him, 'I love you'	250	250
④ 靴の箱を開ける	move the box	250	250
④ 靴を履く	put on shoes	250	250
④ コンパが好きな	like comic books	250	250
④ 英語を勉強する	study English	250	250
④ 雑誌を勉強する	buy some magazines	250	250
④ コンピューターを使う	use a computer	250	250
④ 英語を覚える	get full marks	250	250
④ 学校に行く	go to school	250	250
④ 靴に本を貸してやる	bring me a book	250	250
④ 靴の上の花びらを書く	put a vase on the shelf	250	250
④ 紙を切る	cut the paper	250	250
④ 中国語を勉強する	move to Okinawa	250	250
④ 靴の新しい靴について話す	talk about the new store	250	250
④ 靴を履くのを教える	give some money	250	250
④ メールを書く	write an e-mail	250	250
④ 帰宅する	come back home	250	250
④ 靴の新しい靴がほしい	want a new watch	250	250
④ 靴を買う	run to the station	250	250
④ 靴の本棚に立て直す	tidy me the truth	250	250
④ 靴の履き方を教える	show my address	250	250
④ 靴の履き方を教える	keep her promise	250	250
④ ニューヨークで暮らす	live in New York	250	250
④ 英語とフランス語を話す	speak English and French	250	250
④ 靴の履き方を教える	walk to my house	250	250

④ 私と姉は一緒に遊ぶことに決めた。	④ We took a taxi home.	④ 靴を履くのを教える。	④ I ran to the station in time for school.
④ 私の靴はコンピューターゲームをするときだけ。	④ My hobby is playing computer games.	④ 靴を履くのを教える。	④ I have a time to go to school.
④ 私の靴は、朝晩に履く靴です。	④ We play volleyball every Sunday.	④ 靴を履くのを教える。	④ I said to him, 'I love you'.
④ 私の靴は、兄弟2人と2人です。	④ I have two brothers and two sisters.	④ 靴を履くのを教える。	④ The teacher couldn't use a computer.
④ 私の靴は、新しい傘を持って帰る。	④ Take your umbrella with you in case it rains.	④ 靴を履くのを教える。	④ My sister can speak English and French.
④ 私の靴は、新しい傘を持って帰る。	④ You can't bring photos here.	④ 靴を履くのを教える。	④ How, please let me the truth.
④ 私の靴は、新しい傘を持って帰る。	④ We have some bread for breakfast.	④ 靴を履くのを教える。	④ You really like comic books, don't you?
④ 私の靴は、新しい傘を持って帰る。	④ Turn to the right, and you'll find the station on your left.	④ 靴を履くのを教える。	④ The boy wants to know my address.
④ 私の靴は、新しい傘を持って帰る。	④ My father plays the piano very well.	④ 靴を履くのを教える。	④ Don't move the book.
④ 私の靴は、新しい傘を持って帰る。	④ Don't make trouble.	④ 靴を履くのを教える。	④ It takes 10 minutes to walk to my house from here.
④ 私の靴は、新しい傘を持って帰る。	④ Turned a page of the textbook.	④ 靴を履くのを教える。	④ We moved to Okinawa three years ago.
④ 私の靴は、新しい傘を持って帰る。	④ My trouble always played the part of a cat.	④ 靴を履くのを教える。	④ I want some scissors to cut the paper.

スコア記入欄です。25語ずつ、各1点の25点満点です。

SENTENCE LIST：見出し語を使った50センテンスがランダムに並んでいます。「楽々コース」の人は25センテンスずつ復習しましょう。

## CDについて

本書にはCDが2枚付いています。DAY 1、DAY 3、DAY 6の学習で使用のほか、毎日のちょっとした空き時間（登下校中、お昼休みなど）を利用して、いつでもどこでも活用しましょう。CDを繰り返し聞くことで、より高い学習効果を得られます。また、「日本語→英語」の順に収録してありますので、確認テストにも利用可能です。

### CDの構成

#### UNIT 00

- ▶各グループごとに1トラックになっています。
- ※1の主な代名詞のみ、2つに分かれています。

#### UNIT 01～15

- ▶1トラック=25語 / 25フレーズ
- ▶トラックの並び：
  - 単語トラック **WORD** or **PHRASE** ×2トラック
  - センテンストラック **SENTENCE** ×2トラック
- ▶単語とセンテンスはどちらも「日本語→英語」の順に収録

#### SENTENCES FOR COMMUNICATION

- ▶1トラック=25センテンス
- ▶「日本語→英語」の順に収録



### 【夢をかなえる! CD活用法】

積極的にCDを使って語彙力以外の力も鍛えましょう。

#### 「聞く」力をUPする

学習語やフレーズの発音をチェックします。ネイティブスピーカーの発音を聞いて「聞く」力をUPさせましょう。

#### 「話す」力をUPする

日本語が聞こえてきたら素早く英語に変換します。頭の中で変換するだけでなく、英語を発音して「話す」力をUPさせましょう。

#### 「書く」力をUPする

日本語が聞こえてきたらCDを一時停止させ、対応する英語を書きます。単語のスペリングだけでなく、フレーズを覚えて「書く」力をUPさせましょう。

●弊社制作の音声CDは、CDプレーヤーでの再生を保証する規格品です。

●パソコンでご使用になる場合、CD-ROMドライブとの相性により、ディスクを再生できない場合がございます。ご了承ください。

●パソコンでタイトル・トラック情報を表示させたい場合は、iTunesをご利用ください。iTunesでは、弊社がCDのタイトル・トラック情報を登録してい

るGracenote社のCDDB（データベース）からインターネットを介してトラック情報を取得することができます。

●CDとして正常に音声再生できるディスクからパソコンやmp3プレーヤー等への取り込み時にトラブルが生じた際は、まず、そのアプリケーション（ソフト）、プレーヤーの製作元へご相談ください。



## 発音記号について

### より効率的な語彙学習をするために

ここでは、これから語彙学習をするに当たり、知っておきたい基本的な母音と子音の発音記号を説明しています。発音記号の読み方が分からないという人は、ぜひ参考してください。解説している発音を含む単語を、自分で発音してみましょう。

#### 母音

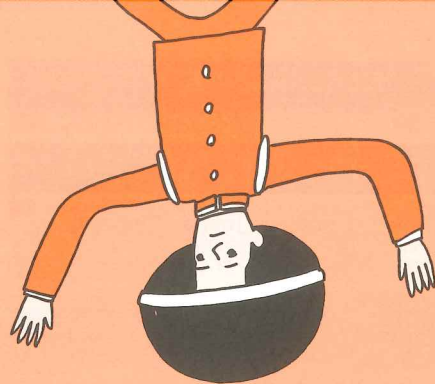
発音記号	基本的な発音方法	発音を含む単語の例
[ə]	口をほとんど開けず舌の力を入れずに「ア」と「ウ」の間のような音を出すつもりで発音する。唇と舌の筋肉を動かさずに短くあいまいに発音するのがポイント。	festival [fɛstɪvəl] lion [laɪən]
[ʌ]	口をあまり開かず、伸ばさず短めに「ア!」と発音する。単語の中のo、oo、u、ouにアクセントが置かれるとこの発音になることが多い。	country [kʌntri] fun [fʌn]
[ɑ]	口を縦に大きく開いて舌の力を抜き、「ア」と「オ」の中間的な音を出す。口は喉の奥からあくびをしたときのような形。	bottle [bɑtl] job [dʒɑb]
[u]	少し「オ」に近い「ウ」の音を発音する。リラックスした音を出すイメージで発音する。	book [bʊk] look [lʊk]
[e]	日本語の「エ」に近い音だが、「エ」を発音するときよりももっと口を横に広げて発音する。	educate [édʒʊkèit] letter [létər]
[æ]	「エ」と言うつもりで口を開き、「ア」と言う。	apple [æpl] cat [kæt]
[i]	日本語の「エ」に近い「イ」の音を発音する。日本語の「エ」を言うときの口の形で「イ」の発音をする。	city [síti] list [líst]
[i:] [u:] [ɔ:]	[i:]は思い切り口を横に広げてはっきりと「イー」と発音する。[u:]は唇を突き出して、喉から声を出すような感じで「ウー」に近い音を出す。少し緊張した音を出すイメージで発音する。[ɔ:]はやや口を大きく開けて喉の奥から「オー」のように発音する。	magazine [mægəzín] shoot [ʃú:t] law [lɔ:]

#### 子音

発音記号	基本的な発音方法	発音を含む単語の例
[f] [v]	下唇に上の前歯を軽く付けて、その間から空気を出す摩擦音。[f]は無声音、[v]は有声音となる。下唇をかむ必要はなく、軽く付けるだけでOK。	fish [fíʃ] violin [vaɪəlín]
[w]	日本語の「ウ」と言うときの口をした後、さらに唇を丸くし突き出して発音する。	swim [swím] wake [wéik]



[l]	舌の先を上歯茎の裏側に当てて、舌の両側から息を出し、語頭と母音の前では「ウ」の音から母音に移るように発音する。語末や子音の前では、非常に弱く「ウ」または「オ」のように発音する。	last [læst] release [ri:li:s] hotel [həʊtél]
[r]	舌先を巻き上げ唇を少し突き出して「ウー」と言うと、[r]の音になる。	racket [rækɪt] horse [hɔ:rs]
[s] [z]	日本語の「サ行」「ザ行」に近い音。舌を下歯茎の内側に置いて力を入れずに発音する。[s]は無声音、[z]は有声音である。	sister [sɪstə] disease [dizɪ:z]
[θ] [ð]	舌先を上歯茎の下に付けて息を吐きながら摩擦させ、無音声の[θ]は「スー」、有音声の[ð]は「ズー」のように弱く発音する。舌を歯でかむ必要はない。	thank [θæŋk] that [ðæt]
[n]	舌の先を上歯茎の付け根に付けて、鼻から息を出し「ンヌ」のように発音する。	nature [néɪtʃər] thin [θɪn]
[ŋ]	舌の後ろの部分を口の奥の上に付けて、鼻から空気を抜いて「ング」のように発音する。「グ」は非常に弱く、ほとんど「ン」に近い音になるようにする。	angry [æŋgrɪ] long [lɔ:ŋ]
[ʃ] [ʒ]	[ʃ]は日本語の「シャ・シュ・ショ」に似た音。唇を丸めて短く発音する。[ʒ]は[ʃ]の有声音で日本語の「ジャ・ジュ・ジョ」に似た音。	crash [kræʃ] leisure [li:ʒər]
[tʃ] [dʒ]	[tʃ]は日本語の「チャ・チュ・チョ」に似た音で、[dʒ]はその有声音である。[tʃ]は唇を少し丸めて舌を口の上部に付け、強めに「チャッ」のように発音する。[dʒ]の場合は、唇を少し丸めて舌を口の上部に付け、しっかりと破裂させて「ジャッ」のように発音する。	check [tʃék] Japan [dʒəpæn]



# UNIT 00

「土台」を作る基礎の基礎

まずは代名詞や接続詞など、英語を話すのに欠かせない単語からスタート！

## Dr. Rei's Phonetic Symbols について

本書では、英単語の発音を表すのに、一般的に用いられる発音記号のほか、高橋 玲先生（同志社女子大学薬学部医療薬学科薬物治療学研究室・教授／京都大学医学部・非常勤講師）が考案した発音・アクセントの新しい表現手法を導入しています。これは、カタカナ、アルファベットを用いて、なるべく簡単に、そして見て直感的に発音が分かるように表記を工夫したものです。

Dr. Rei's Phonetic Symbols では、アクセントの位置や発音の注意点を分かりやすく強調して表現しています。ただし、この表記法は英語の発音のすべてを正確に表すものではありません。本来の発音記号の補助として、また、読み方の基本的なガイドとして使ってください。

### 基本的なルール

- ▶ アクセントのある文字を大きく太字で表示しています。
- ▶ 後ろに母音の付かない子音は、アルファベット表記にしています。
- ▶ 母音はすべて「アイウエオ」で示し、細かい発音の違いや強弱による音の変化は区別していません。

[例] investigate [invéstəgèit] → [インヴエスタゲイト]

■ ① 主な代名詞	19 words
■ ② 主な接続詞	12 words
■ ③ 疑問代名詞・疑問副詞	6 words
■ ④ 主な前置詞	32 words
■ ⑤ 主な助動詞	8 words
■ ⑥ 不規則変化動詞活用表	74 words